

臨床研究「当院での肛門疾患症例における手術成績の検討」
についての情報公開

痔瘻や内痔核、直腸脱をはじめとする肛門疾患を有する患者は多く、手術治療を必要とすることが少なくありません。肛門の解剖は複雑であり、直腸肛門部には便を調整する括約筋機能、便の感知をする感覚機能などさまざまな機能を有します。肛門機能が障害されると漏便や排便困難などの症状が出現し、QOLに直結します。手術においては根治性を求めるのみではなく、QOLを悪化させないようにする必要があります。当院での手術成績より肛門疾患における手術の現況について検討し、今後の治療につなげるためにこの研究を計画しました。

研究期間：研究開始許可日～2031年12月31日

研究対象：2014年～2026年3月に東北労災病院で肛門疾患の手術を受けた患者

方法：2014年以降当院で造設した肛門疾患手術症例について診療録を調査し、後視方的に検討します。解析を行う際には氏名や手術日などの個人を同定できるデータは削除した形で行い、特定の患者さんに直接の不利益がもたらされることはないよう最大限の配慮を行います。

なお、研究に関するお問い合わせ、ご意見、研究協力拒否等のご要望につきましては、研究代表者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

研究代表者：

独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院

大腸肛門外科 羽根田 祥

TEL 022-275-1111, FAX 022-275-7541

〒981-8563 仙台市青葉区台原4丁目3-21